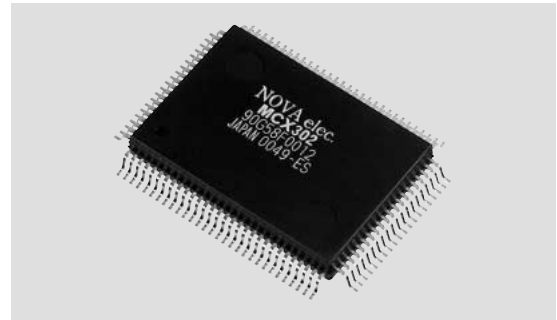


MCX302は、1チップで2軸の脉冲入力からのサーボモータ、ステッピングモータを制御できるICです。各軸独立の位置決め制御、速度制御が可能です。MCX312とピンコンパチブルです。

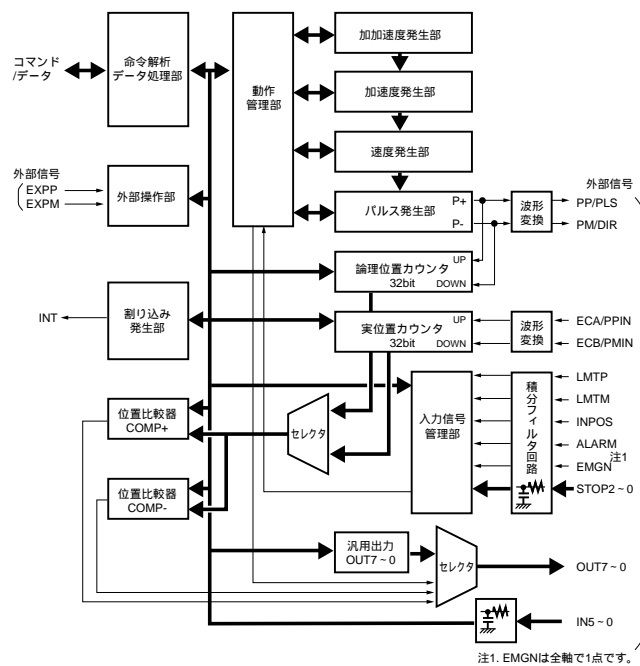
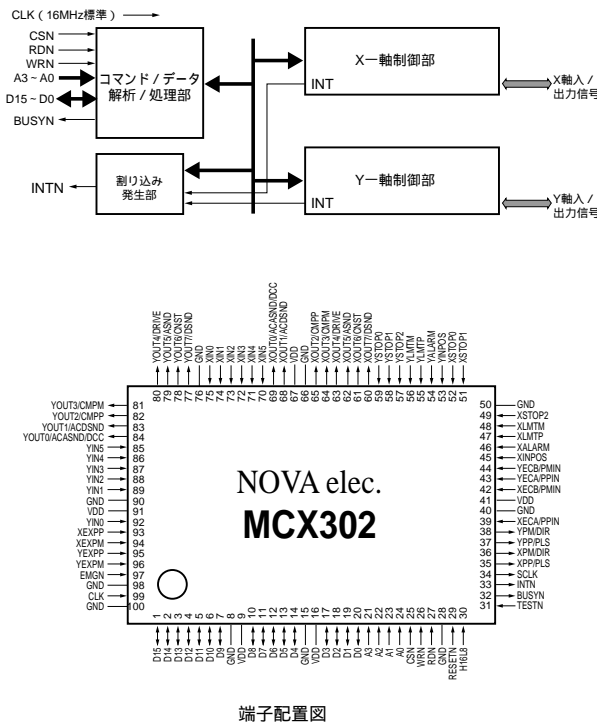
仕様

制御軸	2軸
データバス長	16/8ビット選択可能
ドライブ出力パルス(CLK = 16MHz時)	
出力速度範囲	1 PPS ~ 4 MPPS
出力速度精度	± 0.1%以下(設定値に対して)
S字用加速度(加減速度の増減率)	954(倍率=1の時) ~ 31.25 × 10 ⁶ (倍率=500の時) PPS/SEC ²
加/減速度	125(倍率=1の時) ~ 500 × 10 ⁶ (倍率=500の時) PPS/SEC
初速度	1(倍率=1の時) ~ 4 × 10 ⁶ (倍率=500の時) PPS
ドライブ速度	1(倍率=1の時) ~ 4 × 10 ⁶ (倍率=500の時) PPS
出力パルス数	0 ~ 268,435,455(定量ドライブ)
速度カーブ	定速/直線加減速/放物線S字加減速ドライブ
定量ドライブの減速モード	自動減速(非対象台形駆動時も可能)/マニュアル減速
ドライブ中の出力パルス数、ドライブ速度の変更可能。	
独立2パルス/1パルス・方向方式選択可能。	
パルスの論理レベル選択可能。	
エンコーダ入力パルス	
2相パルス/アップダウンパルス入力選択可能。	
2相パルス 1, 2, 4 通倍選択可能。	
位置カウンタ	
論理位置カウンタ(出力パルス用)カウンタ範囲	-2,147,483,648 ~ +2,147,483,647
実位置カウンタ(入力パルス用)カウンタ範囲	-2,147,483,648 ~ +2,147,483,647
コンペアレジスタ	
COMP+レジスタ 位置比較範囲	-2,147,483,648 ~ +2,147,483,647
COMP-レジスタ 位置比較範囲	-2,147,483,648 ~ +2,147,483,647
位置カウンタとの大小をステータス出力及び信号出力。	
ソフトウェアリミットとして動作可能。	
自動原点出し	
ステップ1(高速原点近傍サーチ) ステップ2(低速原点サーチ) ステップ3(低速エンコーダ2相サーチ) ステップ4(高速オフセット移動)を順次自動実行。	
各ステップの有効/無効、検出方向の選択可能。	
偏差カウンタクリア出力: クリアパルス幅 10 μ ~ 20msec、論理レベル選択可能。	
割り込み要因	
位置カウンタ COMP- 変化時 位置カウンタ < COMP- 変化時 位置カウンタ < COMP+ 変化時	
位置カウンタ COMP+ 変化時 加減速ドライブ中の定速開始時 定速終了時 ドライブ終了時	
外部信号によるドライブ操作	
EXPP、EXPM 信号による + / - 方向の定量/連続ドライブ可能。	
手動バルサモード(エンコーダ入力)ドライブ可能。	



外部減速停止/即停止信号
 STOP0 ~ 2 各軸3点。各点の有効/無効、論理レベル選択可能。
 サーボモータ入力信号
 ALARM(アラーム) INPOS(位置決め完了)
 汎用入出力信号
 IN0 ~ 5 各軸6点
 OUT0 ~ 7 各軸8点(ドライブ状態出力信号と端子兼用)
 ドライブ状態信号出力
 DRIVE(ドライブ中)、ASND(加速中)、DSND(減速中)、CMPP(位置 COMP+)、
 CMPM(位置 < COMP-)、ACASND(加減速度増加)、ACDSND(加減速度減少)
 オーバランリミット信号入力
 +方向、-方向各1点。論理レベル、即停止/減速停止選択可能。
 緊急停止信号入力
 全軸で EMGN 1点。Low レベルで全軸のドライブパルスを即停止。
 積分型フィルタ内蔵
 各入力信号の入力段に積分フィルタを装備。時定数を8種類の中から選択可能。
 電気的特性
 動作温度範囲 0 ~ +85
 動作電源電圧 +5V ± 5% (消費電流 50 mA max)
 入出力信号レベル CMOS、TTL 接続可能
 入力クロック 16,000 MHz(標準)
 パッケージ 100ピンプラスチック QFP pin pitch=0.65
 外形サイズ: 23.8 × 17.8 × 3.05 mm

IC内の機能ブロック図と入出力信号



注1. EMGNは全軸で1点です。

入出力信号 ((I):入力, (O):出力, (B):双方向。 n 信号はX, Y軸についてそれぞれ持つ。)

D15 ~ 0(B)データバス A3 ~ 0(I)アドレス CSN(I)チップセレクト WRN(I)ライトストローブ RDN(I)リードストローブ RESETN(I)リセット H16L8(I)16/8ビットバス選択 BUSYN(O)命令処理中 INTN(O)割り込み SCLK(O) 1/2CLK nPP/PLS(O) + 方向ドライブパルス/ドライブパルス nPM/DIR(O) - 方向ドライブパルス/方向
 nECA/PPIN(I)エンコーダA相/アップパルス nECB/PMIN(I)エンコーダB相/ダウンパルス nINPOS(I)サーボモータ位置決め完了 nALARM(I)サーボモータアラーム
 nLMTF(I) + 方向リミット nLMTM(I) - 方向リミット nSTOP2 ~ 0(I)減速停止/即停止3点 nOUT7 ~ 0 (O)汎用出力8点 (DSND:減速中, CNST:定速中 ASND:加速中, DRIVE:
 ドライブパルス出力中, CMPM:P < COMP-, CMPP:P COMP+, ACDSND:加減速度減少中, ACASND/DCC:加減速度増加中/偏差カウンタクリア, 信号と端子兼用) nIN5 ~ 0
 (I)汎用入力6点 nEXPP(I)外部 + 方向ドライブ、手動バルサ A相 nEXPM(I)外部 - 方向ドライブ、手動バルサ B相 EMGN(I)緊急停止 CLK(I)クロック 16MHz(標準)

2軸独立のモーションコントロール

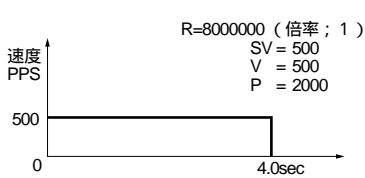
本ICは、X、Y各軸、32ビットの位置カウンタを持ち、最高速度4 MPPS、定速/直線加減速(台形)/S字加減速カーブでのドライブが可能です。ドライブ命令は、基本的に、+/-方向の定量ドライブか連続ドライブで行います。

定量ドライブ: 指定のパルス数を出力する。

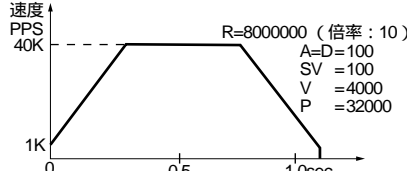
連続ドライブ: 停止要因がアクティブになるまでパルスを出し続ける。

いずれのドライブも、動作パラメータ、モード設定によって、定速/直線加減速台形/S字加減速で行うことができます。

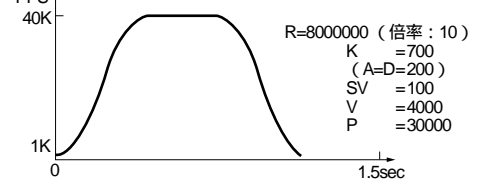
定速 定量ドライブ



直線加減速 定量ドライブ



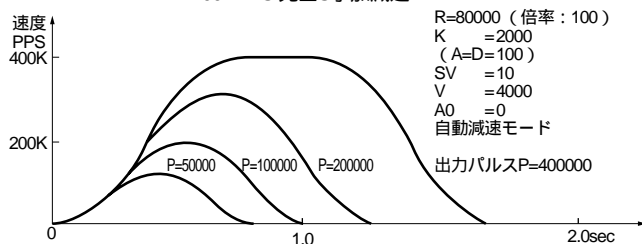
S字加減速 定量ドライブ



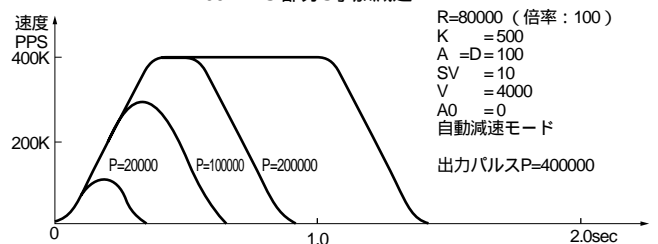
S字加減速ドライブ

S字加減速は、加/減速度を直線(一次関数)増加/減少させる方式です。従って、速度カーブは放物線S字になります。下図のように、出力パルス数が少なくても、独自の方式により三角波形を防止しています。完全S字加減速は加減速区間に直線加減速部分を持たず、すべて2次曲線で減速します。一方、部分S字加減速では加減速区間に直線加減速部分を含みます。

400KPPS 完全S字加減速

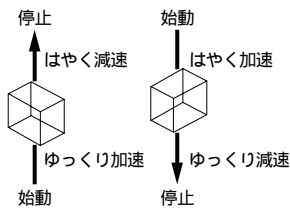


400KPPS 部分S字加減速

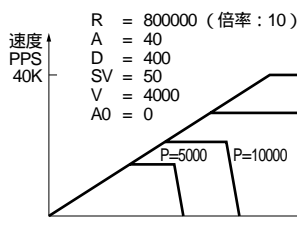


非対称台形の自動減速

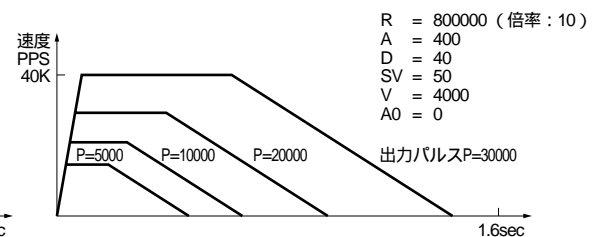
加速度と減速度が異なる直線加減速ドライブにおいても、IC内部で減速開始ポイントが計算され、自動減速します。CPU側から減速開始ポイント設定する必要がありません。



非対称直線加減速ドライブ (加速度 < 減速度)



非対称直線加減速ドライブ (加速度 > 減速度)



搬送物を上下方向に動かす時には、重力加速度が加わりますので、効率よく搬送するには、非対称の台形駆動が必要になります。

加速・減速度個別: WR3/D1=1, 三角防止 ON: WR3/D5=1

【注意】加速度 > 減速度の場合、自動減速できる減速度/加速度の比率には限界があります。比率の限界はドライブ速度に依存し、例えばドライブ速度が100kppsの場合、1/40までです。

自動原点出し機能

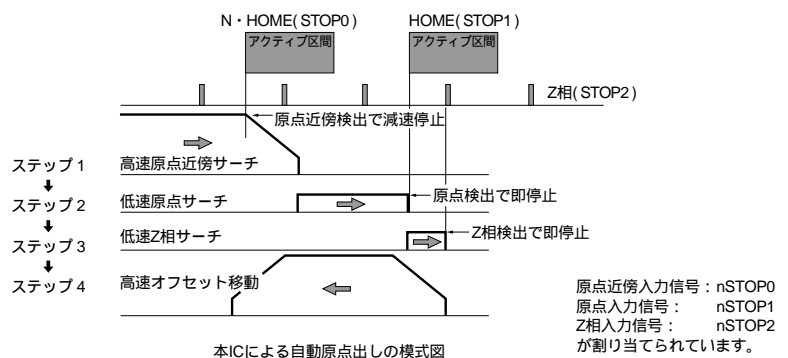
本ICはCPUの介在なしに、高速原点近傍サーチ 低速原点サーチ エンコーダZ相サーチ オフセット移動などの一連の原点出しシーケンスを自動的に実行する機能を持っています。自動原点出しは、右図のようにステップ1からステップ4を順に実行します。各ステップについて、実行/不実行の選択、サーチ方向をモード設定します。

サーチ速度

ステップ1, 4はドライブ速度(V)に設定された高速速度でサーチ動作が行われます。また、ステップ2, 3は原点検出速度(HV)に設定された低速速度でサーチ動作が行われます。

イレギュラー動作

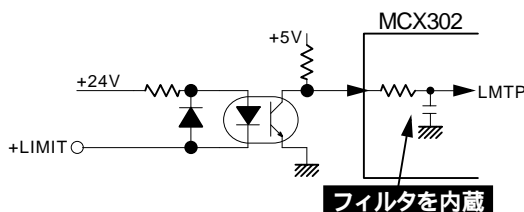
サーチ開始前にセンサ・アクティブ区間にある場合や、サーチ動作中に進行方向のリミットを検出したなどのイレギュラーな場合においても、正しい原点出し動作が行われるよう対応しています。



入力信号にフィルタ内蔵

各軸のオーバランリミット信号やドライブ停止信号は、外部からのノイズが非常に乗りやすいため、通常は、前段にフォトカプラやCR積分フィルタを配置します。

本ICは、IC内部において、各入力信号の入力段に積分型フィルタを装備しています。いくつかの入力信号ごとに、フィルタ機能を有効にするか、信号をスルーで通すかを設定できます。フィルタの時定数は8段階の中から選択します。



FL2~0	入力信号遅延
0	2 μSEC
1	256 μSEC
2	512 μSEC
3	1.024mSEC
4	2.048mSEC
5	4.096mSEC
6	8.192mSEC
7	16.384mSEC

ライトレジスタ

アドレス A2 A1 A0	記号	レジスタ名	内 容
0 0 0	WR0	コマンドレジスタ	各軸、および補間制御部への命令の書き込み D15 D14 D13 D12 D11 D10 D9 D8 D7 D6 D5 D4 D3 D2 D1 D0 RESET 0 0 0 0 0 Y X 0 0 0 0 0 0 0 軸指定 命令コード D9~8 軸指定 0:非選択/1:選択 (同時複数軸選択可能) D15 1:リセット
0 0 1	XWR1 YWR1	X軸モードレジスタ1 Y軸モードレジスタ1	各軸の外部減速停止 / 即停止信号の論理レベル、有効 / 無効の設定 各軸の割り込みの許可 / 禁止の設定 実位置カウンタの動作モード設定 D15 D14 D13 D12 D11 D10 D9 D8 D7 D6 D5 D4 D3 D2 D1 D0 D-END C-STA C-END P C+ P<C+ P<C- P C- SMOD EPINV EPCLR SP2-E SP2-L SP1-E SP1-L SP0-E SP0-L 割り込み許可 / 禁止 ドライブ減速停止 / 即停止入力信号 D5~0 ***-E 0:無効/1:有効。 ***-L 論理レベル 0:Low/1:Hi D6:実位置カウンタSTOP2信号でクリア 0:無効/1:有効 D7:実位置カウンタ増減反転 0:無効/1:有効 D8: S 字加減速時速度優先 0:無効/1:有効 D15~9 0:割り込み禁止/1:許可 D9:論理 / 実位置カウンタ COMP-変化時 D10:論理 / 実位置カウンタ <COMP-変化時 D11:論理 / 実位置カウンタ <COMP+変化時 D12:論理 / 実位置カウンタ COMP+変化時 D13:加減速ドライブの定速域終了時 D14:加減速ドライブの定速域開始時 D15:ドライブ終了時
0 1 0	XWR2 YWR2	X軸モードレジスタ2 Y軸モードレジスタ2	ソフトリミット有効 / 無効の設定 リミット入力信号のモード設定 ドライブパルスのモード設定 エンコーダ入力信号のモード設定 サーボモータ用信号の論理レベル、有効 / 無効の設定 D15 D14 D13 D12 D11 D10 D9 D8 D7 D6 D5 D4 D3 D2 D1 D0 INP-E INP-L ALM-E ALM-L PIND1 PIND0 PINMD DIR-L PLS-L PLSMD CMPSL HLMT- HLMT+ LMTMD SLMT- SLMT+ D1,0 ソフトリミット 0:無効/1:有効 D2 ハードリミット 0:即停止/1:減速停止 D4,3 リミット信号論理レベル 0:Low/1:Hi D5 COMP+/-レジスタ比較対象 0:論理位置カウンタ/1:実位置カウンタ D6 ドライブパルス出力方式 0:独立 2パルス/1:1パルス・方向 D7 ドライブパルス論理 0:正論理/パルス/1:負論理/パルス D8 方向信号論理 0:+方向 時/1:-方向時Hi D9 エンコーダ入力 0:2相パルス/1:アップ / ダウンパルス D11,10 エンコーダ入力分周 00:1/1,01:1/2,10:1/4 D12 ALARM信号論理レベル 0:Low/1:Hi D13 ALARM信号 0:無効/1:有効 D14 INPOS信号論 理レベル 0:Low/1:Hi D15 INPOS信号 0:無効/1:有効
	BP1P		ビットパターン補間 X軸 + 方向ビットデータ
0 1 1	XWR3 YWR3	X軸モードレジスタ3 Y軸モードレジスタ3	マニュアル減速、減速度個別、加減速モード設定 外部操作モードの設定 汎出力/ドライブ状態出力切替 入力信号フィルタの設定 D15 D14 D13 D12 D11 D10 D9 D8 D7 D6 D5 D4 D3 D2 D1 D0 FL2 FL1 FL0 FE4 FE3 FE2 FE1 FE0 OUTSL VRING AVTRI EXOP1 EXOP0 SACC DSND MANLD フィルタ時定数 入力信号フィルタ有効 / 無効 D0 定量ドライブの減速 0:自動減速/1:マニュアル減速 D1 減速時の減速度 0:加速度の値を使用/1:減速度の値を使用 D2 加減速モード 0:直線加減速/1: S 字加減速 D4,3 外部ドライブ操作 00:無効/01:連続ドライブ/10:定量ドライブ/11:手 動パルサー D5 直線加減速時の三角防止 0:無効/1:有効 D6 位置カウンタ可変リング機能 0:無効/1:有効 D7 nOUT7 ~0出力端子選択 0:OUT7~0を出力/1:ドライブ状態(DSND,CNST,ASND,DRIVE,CMPP,CMPP,ACDSND,ACASND)を出力 D8 EMG,LMT/M.STOP0,1信号フィルタ 0:無効/1:有効 D9 STOP2信号フィルタ 0:無効/1:有効 D10 INPOS,ALARM 信号フィルタ 0:無効/1:有効 D11 EXPP/M信号フィルタ 0:無効/1:有効 D12 IN5~0信号フィルタ 0:無効/1:有効 D15 ~D13 入力フィルタ時定数設定(000:0.002msec/001:0.2msec/010:0.5msec/011:1msec/100:2msec/101:4msec/110:8msec/111:16msec)
	BP1M		ビットパターン補間 X軸 - 方向ビットデータ
1 0 0	WR4	アウトプットレジスタ	汎出力信号 nOUT7~0の設定。 0:Low/ 1:Hi D15 D14 D13 D12 D11 D10 D9 D8 D7 D6 D5 D4 D3 D2 D1 D0 YOUT7 YOUT6 YOUT5 YOUT4 YOUT3 YOUT2 YOUT1 YOUT0 XOUT7 XOUT6 XOUT5 XOUT4 XOUT3 XOUT2 XOUT1 XOUT0
	BP2P		ビットパターン補間 Y軸 + 方向ビットデータ
1 0 1	WR5	補間モードレジスタ	補間ドライブを行うための線速一定モード、補間ステップ送りモード、補間時割り込みの設定。 D15 D14 D13 D12 D11 D10 D9 D8 D7 D6 D5 D4 D3 D2 D1 D0 BPINT CIINT CMPLS EXPLS MULT1 MULT0 LSPD1 LSPD0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 割り込み ステップ送り 多軸補間 線速一定 D9,8 線速一定 00:線速一定無効/01:2軸線速一定 D11,10 マルチチップ多軸補間 00:しない/01:メインチップ/10:サブ チップ X Y/11:サブチップ X D12 1:外部信号(MPLS)で補間ステップ送り D13 1:コマンドで補間ステップ送り D14 連続補間時の割り込み 0:禁止/1:許可 D15 ビットパターン補間時の割り込み 0:禁止/1:許可
	BP2M		ビットパターン補間 Y軸 - 方向ビットデータ
1 1 0	WR6	ライトデータレジスタ1	ライトデータの低位 16ビットデータ (D15~D0)
1 1 1	WR7	ライトデータレジスタ2	ライトデータの高位 16ビットデータ (D31~D16)

上表は、16ビットデータバスの場合のアドレスです。8ビットデータバスの場合は、A3~A0のアドレス信号を使用し、これらの16ビットレジスタを上位バイト(D15~8)、下位バイト(D7~0)に分けてアクセスします。
 WR1、WR2、WR3 (モードレジスタ1,2,3) は、X,Y各軸とも持っています。これらのレジスタへは、同一アドレスで書き込みを行うことになります。どの軸のモードレジスタに書き込むかは、直前に書き込んだ命令の軸指定によって決まります。あるいは、軸指定したNOP命令を直前に書き込むことによって、書き込みたい軸を選択します。
 リセット時は、nWR1,nWR2,nWR3,WR4 レジスタはすべてのビットが0にクリアされます(n=X,Y)。その他のレジスタは不定です。

自動原点出しモード設定

自動原点出しモード設定は、自動原点出しモード設定命令(60h)によって行います。下記のようにWR6レジスタの各ビットを設定してから、WR0レジスタに軸指定とともに命令コード60hを書き込むことにより行われます。

アドレス A2 A1 A0	記号	レジスタ名	内 容
1 1 0	WR6	ライトデータレジスタ1	D15 D14 D13 D12 D11 D10 D9 D8 D7 D6 D5 D4 D3 D2 D1 D0 DCCW2 DCCW1 DCCW0 DCCL DCC-E LIMIT SAND PCLR ST4-D ST4-E ST3-D ST3-E ST2-D ST2-E ST1-D ST1-E 偏差カウンタクリア出力の設定 ステップ4 ステップ3 ステップ2 ステップ1 D6,4,2,0 Stm-E ステップm実行 0:不実行/1:実行 D7,5,3,1 Stm-D ステップm検出方向 0:+方向/1:-方向 D8 ステップ4実行後、論理 / 実位置カウンタクリア 0:無効/1:有効 D9 ステップ3時にZ相信号と原点信号のAND 0:無効/1:有効 D10 リミット信号を原点信号として使用 0:無効/1:有効 D11 偏差カウンタクリア出力 0:無効/1:有効 D12 偏差カウンタ クリア出力・論理レベル 0:アクティブHi/1:Low D15~13 偏差カウンタクリア出力アクティブパルス幅 (000:0.01msec /001:0.02msec/010:0.1msec/011:0.2msec/100:1msec/101:2msec/110:10msec/111:20msec)

リードレジスタ

アドレス			記号	レジスタ名	内 容
A2	A1	A0			
0	0	0	RR0	主ステータスレジスタ	各軸のドライブ、エラー状態、および自動原点出し実行の状態を表示 D15 D14 D13 D12 D11 D10 D9 D8 D7 D6 D5 D4 D3 D2 D1 D0 - 0 0 0 0 0 0 Y-HOM X-HOM - - Y-ERR X-ERR - - Y-DRV X-DRV 各軸自動原点出し実行 各軸のエラー 各軸のドライブ D1,0 1:ドライブ中 D5,4 1:エラー発生 (RR2/D7=0,RR1/D15~12のいずれか1) D9,8 1:自動原点出し実行中
0	0	1	XRR1 YRR1	X軸ステータスレジスタ1 Y軸ステータスレジスタ1	位置カウンタとCOMP _± レジスタの大小比較の表示 ドライブの加減速状態の表示 ドライブ終了ステータスの表示 D15 D14 D13 D12 D11 D10 D9 D8 D7 D6 D5 D4 D3 D2 D1 D0 EMG ALARM LMT- LMT+ - STOP2 STOP1 STOP0 ADSND ACNST AASND DSND CNST ASND CMP- CMP+ ドライブ終了ステータス D0 1:位置カウンタ COMP+ D1 1:位置カウンタ < COMP- D2 1:加速中 D3 1:定速中 D4 1:減速中 D5 1:加減速度増加 D6 1:加減速度一定 D7 1:加減速度減少 D15-8 1:ドライブ終了原因
0	1	0	XRR2 YRR2	X軸ステータスレジスタ2 Y軸ステータスレジスタ2	エラー情報の表示 自動原点出しの実行ステート表示 D15 D14 D13 D12 D11 D10 D9 D8 D7 D6 D5 D4 D3 D2 D1 D0 - - - HMST4 HMST3 HMST2 HMST1 HMST0 HOME 0 EMG ALARM HLMT- HLMT+ SLMT- SLMT+ 自動原点出し実行ステート エラー情報 D0 1:+方向ソフトリミット D1 1:-方向ソフトリミット D2 1:+方向リミット信号オン D3 1:-方向リミット信号オン D4 1:サーボモータ用アラーム信号オン D5 1:緊急停止信号オン D7 1:自動原点出し実行時のエラー D12-8 自動原点出し実行ステート (現在実行中の動作内容)
0	1	1	XRR3 YRR3	X軸ステータスレジスタ3 Y軸ステータスレジスタ3	割り込み発生要因の表示 D15 D14 D13 D12 D11 D10 D9 D8 D7 D6 D5 D4 D3 D2 D1 D0 - - - - - - - D-END CSTA C-END P C+ P<C- P C- - 1:割り込み発生。 D7~D1の各ビットは、WR1 (モードレジスタ1) のD15~D9ビットに対応する。
1	0	0	RR4	インプットレジスタ1	X軸入力信号の状態表示 0:Low 1:Hi D15 D14 D13 D12 D11 D10 D9 D8 D7 D6 D5 D4 D3 D2 D1 D0 X-LM- X-LM+ X-IN5 X-IN4 X-IN3 X-IN2 X-IN1 X-INO X-ALM X-INP X-EX- X-EX+ EMG X-ST2 X-ST1 X-ST0
1	0	1	RR5	インプットレジスタ2	Y軸入力信号の状態表示 0:Low 1:Hi D15 D14 D13 D12 D11 D10 D9 D8 D7 D6 D5 D4 D3 D2 D1 D0 Y-LM- Y-LM+ Y-IN5 Y-IN4 Y-IN3 Y-IN2 Y-IN1 Y-INO Y-ALM Y-INP Y-EX- Y-EX+ - Y-ST2 Y-ST1 Y-ST0
1	1	0	RR6	リードデータレジスタ1	リードデータ下位16ビット (D15~D0) の表示
1	1	1	RR7	リードデータレジスタ2	リードデータ上位16ビット (D31~D16) の表示

上表は、16ビットデータバスの場合のアドレスです。8ビットデータバスの場合、A3~A0のアドレス信号を使用し、これらの16ビットレジスタを上位バイト(D15~8)、下位バイト(D7~0)に分けてアクセスします。
 RR1、RR2、RR3(ステータスレジスタ1,2,3)は、X,Y軸とも持っています。これらのレジスタへは、同一アドレスで読み出しを行うことになります。どの軸のレジスタを読み出すかは、直前に書き込んだ命令の軸指定によって決まります。あるいは、軸指定したNOP命令を直前に書き込むことによって、読み出したい軸を選択します。

データ書き込み命令

コード	命 令	パラメータ記号	データ範囲	データ長
00	レンジ 設定	R	8,000,000(倍率:1) ~ 16,000(500)	4ビット
01	加加速度 設定	K	1 ~ 65,535	2
02	加速度 設定	A	1 ~ 8,000	2
03	減速度 設定	D	1 ~ 8,000	2
04	初速度 設定	SV	1 ~ 8,000	2
05	ドライブ速度設定	V	1 ~ 8,000	2
06	出力パルス数設定	P	0 ~ 268,435,455	4
07	マニュアル減速点 設定	DP	0 ~ 268,435,455	4
09	論理位置カウンタ 設定	LP	-2,147,483,648 ~ +2,147,483,647	4
0A	実位置カウンタ 設定	EP	-2,147,483,648 ~ +2,147,483,647	4
0B	COMP+ レジスタ 設定	CP	-2,147,483,648 ~ +2,147,483,647	4
0C	COMP- レジスタ 設定	CM	-2,147,483,648 ~ +2,147,483,647	4
0D	加速カウンタオフセット設定	AO	-32,768 ~ 32,767	2
0F	NOP (軸切り換え用)			
60	自動原点出しモード 設定	HM		2
61	原点検出速度	HV	1 ~ 8,000	2

データ読み出し命令

コード	命 令	データ範囲	データ長
10	論理位置カウンタ 読み出し	-2,147,483,648 ~ +2,147,483,647	4ビット
11	実位置カウンタ 読み出し	-2,147,483,648 ~ +2,147,483,647	4
12	現在ドライブ速度 読み出し	1 ~ 8,000	2
13	現在加減速度 読み出し	1 ~ 8,000	2

ドライブ命令

コード	命 令
20	+方向定量ドライブ
21	-方向定量ドライブ
22	+方向連続ドライブ
23	-方向連続ドライブ
24	ドライブ開始ホールド
25	ドライブ開始フリー/終了ステータスクリア
26	ドライブ減速停止
27	ドライブ即停止

その他の命令

コード	命 令
62	自動原点出し実行 偏差カウンタクリア出力

パラメータ計算式 CLK= 16MHzの時

$$\text{倍率} = \frac{8,000,000}{R} \quad \text{加加速度 (PPS/SEC}^2\text{)} = \frac{62.5 \times 10^6}{K} \times \frac{8,000,000}{R} \quad \text{加速度 (PPS/SEC)} = A \times 125 \times \frac{8,000,000}{R}$$

$$\text{初速度 (PPS)} = SV \times \frac{8,000,000}{R} \quad \text{ドライブ速度 (PPS)} = V \times \frac{8,000,000}{R} \quad \text{減速度 (PPS/SEC)} = D \times 125 \times \frac{8,000,000}{R}$$